



2020年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年3月16日

上場会社名 株式会社稲葉製作所 上場取引所 東
 コード番号 3421 URL <https://www.inaba-ss.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 明
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経理部長 (氏名) 武田 浩 TEL 03-3759-5181
 四半期報告書提出予定日 2020年3月16日 配当支払開始予定日 2020年4月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年7月期第2四半期の連結業績（2019年8月1日～2020年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第2四半期	16,467	4.1	635	8.3	741	△5.5	441	△8.6
2019年7月期第2四半期	15,811	8.0	586	—	784	—	483	—

(注) 包括利益 2020年7月期第2四半期 455百万円 (△1.9%) 2019年7月期第2四半期 464百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第2四半期	25.15	—
2019年7月期第2四半期	27.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年7月期第2四半期	51,996	38,560	74.2	2,195.47
2019年7月期	53,314	38,334	71.9	2,182.58

(参考) 自己資本 2020年7月期第2四半期 38,560百万円 2019年7月期 38,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2020年7月期	—	13.00			
2020年7月期（予想）			—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年7月期の連結業績予想（2019年8月1日～2020年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,700	1.9	1,850	4.1	2,120	0.1	1,330	25.4	75.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年7月期2Q	17,922,429株	2019年7月期	17,922,429株
② 期末自己株式数	2020年7月期2Q	358,536株	2019年7月期	358,506株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年7月期2Q	17,563,908株	2019年7月期2Q	17,561,349株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率(%)
売上高	15,811	16,467	4.1
営業利益	586	635	8.3
経常利益	784	741	△5.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	483	441	△8.6

当第2四半期連結累計期間の国内経済につきましては、雇用・所得環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、世界経済の減速、米中貿易摩擦の激化による企業の生産活動や輸出の減速、英国のEU離脱など、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの事業環境について概観いたしますと、鋼製物置市場では、持家・分譲一戸建住宅の新設着工戸数が弱含みで推移しておりますが、消費増税前の駆け込み需要を受けて、物置及びガレージ・倉庫の需要は堅調に推移いたしました。なお、主材料の鋼材価格は、引き続き高止まりで推移しております。オフィス家具市場では、大規模オフィスビルの安定的な供給を背景にオフィスの移転需要及びリニューアル需要は堅調に推移いたしました。メーカー間の価格競争は激化しており、厳しい状況が続きました。

このような事業環境のなか、当社グループは、製造コストの低減及び品質・生産性向上への取組みに加え、代理店様・販売店様とのリレーション強化、物流拠点と販売拠点との連携強化や製品の強みを活かした提案営業の拡大などにより、各事業分野での業績拡大に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は16,467百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は635百万円（前年同期比8.3%増）を計上いたしました。なお、前年同期に富岡工場建設に係る助成金収入を営業外収益に計上していたことによる反動減、スクラップ市況の低迷による作業くず売却益の減少などにより、経常利益は741百万円（前年同期比5.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は441百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(百万円)			セグメント利益又は損失(△)(百万円)		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
鋼製物置	10,735	11,478	743	1,320	1,278	△42
オフィス家具	5,076	4,989	△86	△223	△106	117
合計	15,811	16,467	656	1,096	1,172	75

(鋼製物置事業)

鋼製物置事業については、消費増税前の駆け込み需要の増加を受けて、小型製品、一般製品、ガレージ・倉庫の大型製品の出荷数が増加し、売上高は前年同期に比べ増収となりました。利益につきましては、材料費の上昇、荷造運送費や減価償却費の増加により利益率が低下し、前年同期に比べ減益となりました。

当事業の売上高は11,478百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益は1,278百万円（前年同期比3.2%減）を計上いたしました。

(オフィス家具事業)

オフィス家具事業については、引き続きオフィスでの働き方改革や健康への関心の高まりに対応した新しいオフィスづくりの提案を積極的に展開いたしました。売上高は前年同期に比べ減収となりました。損益につきましては、合理化・コストダウンに努めたことにより利益率が改善し、損失額は前年同期に比べ縮小いたしました。

当事業の売上高は4,989百万円(前年同期比1.7%減)、セグメント損失は106百万円(前年同期は223百万円のセグメント損失)を計上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

	前連結会計年度末 (百万円)	当第2四半期連結会計期間末 (百万円)	増減(百万円)
流動資産	28,227	26,373	△1,854
固定資産	25,087	25,623	536
総資産	53,314	51,996	△1,317
流動負債	12,152	10,594	△1,558
固定負債	2,827	2,841	14
純資産	38,334	38,560	226

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、26,373百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,854百万円減少いたしました。主な減少要因は、配当支払、納税及び有価証券取得等による現金及び預金の減少であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、25,623百万円となり、前連結会計年度末に比べ536百万円増加いたしました。主な増加要因は、静岡配送センター移転用地等の取得による土地の増加、投資その他の資産のその他に含まれる債券の取得等による投資有価証券の増加であります。

その結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、51,996百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,317百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、10,594百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,558百万円減少いたしました。主な減少要因は、納税による未払法人税等の減少及びその他に含まれる未払金の減少であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、2,841百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加いたしました。主な増加要因は、役員株式給付引当金の増加であります。

その結果、当第2四半期連結会計期間末における負債は、13,435百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,544百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、38,560百万円となり、前連結会計年度末に比べ226百万円増加いたしました。主な増加要因は、事業活動における利益獲得等における利益剰余金の増加であります。一方、主な減少要因は、配当支払による利益剰余金の減少であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2,674百万円減少し、13,984百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、428百万円の収入(前年同期は584百万円の収入)となりました。

この主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上693百万円、減価償却費の発生704百万円及び売上債権の減少411百万円等による収入と、法人税等の支払630百万円、たな卸資産の増加230百万円及びその他に含まれるその他の営業負債の減少521百万円の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、2,872百万円の支出(前年同期は896百万円の支出)となりました。

この主な要因は、有価証券の償還500百万円及び投資有価証券の償還200百万円による収入と、定期預金の預入1,000百万円、有形固定資産の取得1,555百万円、投資有価証券の取得505百万円及び有価証券の取得500百万円の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、229百万円の支出(前年同期は230百万円の支出)となりました。

この主な要因は、配当金の支払228百万円等の支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月期の連結業績予想につきましては、2019年9月12日に公表いたしました業績予想から変更はございません。なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,658,466	13,984,347
受取手形及び売掛金	6,097,977	5,545,790
電子記録債権	1,922,842	2,064,541
有価証券	500,100	1,500,110
商品及び製品	2,260,705	2,397,302
仕掛品	201,325	251,222
原材料及び貯蔵品	311,428	355,790
その他	284,379	284,965
貸倒引当金	△9,955	△10,830
流動資産合計	28,227,269	26,373,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,970,793	6,927,699
機械装置及び運搬具(純額)	3,238,148	3,044,565
土地	11,121,385	11,525,117
その他(純額)	231,536	353,022
有形固定資産合計	21,561,863	21,850,404
無形固定資産	425,881	354,131
投資その他の資産		
その他	3,100,377	3,418,950
貸倒引当金	△848	△0
投資その他の資産合計	3,099,529	3,418,950
固定資産合計	25,087,273	25,623,485
資産合計	53,314,543	51,996,726
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,049,605	3,946,368
電子記録債務	4,118,894	4,176,752
未払法人税等	682,572	299,128
賞与引当金	309,208	312,697
その他	2,992,324	1,859,271
流動負債合計	12,152,606	10,594,217
固定負債		
役員退職慰労引当金	1,966	7,214
役員株式給付引当金	63,785	91,745
退職給付に係る負債	1,430,515	1,393,097
その他	1,330,976	1,349,473
固定負債合計	2,827,243	2,841,530
負債合計	14,979,850	13,435,748

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,132,048	1,132,048
資本剰余金	1,013,770	1,013,770
利益剰余金	36,376,894	36,589,618
自己株式	△331,745	△331,788
株主資本合計	38,190,967	38,403,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	184,741	187,290
退職給付に係る調整累計額	△41,016	△29,960
その他の包括利益累計額合計	143,724	157,329
純資産合計	38,334,692	38,560,977
負債純資産合計	53,314,543	51,996,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年8月1日 至2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2020年1月31日)
売上高	15,811,811	16,467,623
売上原価	11,444,834	11,839,042
売上総利益	4,366,977	4,628,580
販売費及び一般管理費	3,780,113	3,992,923
営業利益	586,863	635,657
営業外収益		
受取利息	2,493	2,707
受取配当金	5,052	3,840
作業くず売却益	64,437	41,610
電力販売収益	51,578	46,110
雑収入	95,552	31,120
営業外収益合計	219,114	125,390
営業外費用		
電力販売費用	20,818	19,227
雑損失	330	68
営業外費用合計	21,148	19,296
経常利益	784,829	741,750
特別利益		
固定資産売却益	1,190	2,258
特別利益合計	1,190	2,258
特別損失		
固定資産売却損	6,296	—
固定資産除却損	2,187	17,627
減損損失	47,458	32,493
特別損失合計	55,943	50,121
税金等調整前四半期純利益	730,076	693,888
法人税、住民税及び事業税	307,053	262,531
法人税等調整額	△60,162	△10,331
法人税等合計	246,890	252,199
四半期純利益	483,185	441,688
親会社株主に帰属する四半期純利益	483,185	441,688

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)
四半期純利益	483,185	441,688
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,980	2,549
退職給付に係る調整額	31,096	11,055
その他の包括利益合計	△18,884	13,604
四半期包括利益	464,301	455,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	464,301	455,293

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	730,076	693,888
減価償却費	612,247	704,423
減損損失	47,458	32,493
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△29,306	26
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,661	3,489
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	87,361	△21,488
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,375	5,248
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	11,515	27,960
受取利息及び受取配当金	△7,545	△6,547
有形固定資産売却損益(△は益)	5,106	△2,258
固定資産除却損	2,187	17,627
売上債権の増減額(△は増加)	780,841	411,335
たな卸資産の増減額(△は増加)	△392,782	△230,855
仕入債務の増減額(△は減少)	△833,622	△45,380
その他	△291,729	△555,577
小計	735,844	1,034,384
利息及び配当金の受取額	7,471	6,534
法人税等の支払額	△159,096	△630,584
法人税等の還付額	30	17,683
営業活動によるキャッシュ・フロー	584,250	428,017
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,000,000
有価証券の取得による支出	△500,000	△500,000
有価証券の償還による収入	300,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△351,283	△1,555,862
投資有価証券の取得による支出	△200,310	△505,885
投資有価証券の償還による収入	—	200,000
その他	△144,747	△10,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	△896,341	△2,872,523
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△228,868	△228,877
その他	△1,305	△726
財務活動によるキャッシュ・フロー	△230,173	△229,603
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△542,264	△2,674,109
現金及び現金同等物の期首残高	15,281,210	16,658,466
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,738,945	13,984,357

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年8月1日至2019年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,735,444	5,076,366	15,811,811	—	15,811,811
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,735,444	5,076,366	15,811,811	—	15,811,811
セグメント利益又は損失(△)	1,320,839	△223,924	1,096,915	△510,051	586,863

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△510,051千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において45,890千円であります。

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産等に区分される土地の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において1,568千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年8月1日至2020年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,478,494	4,989,128	16,467,623	—	16,467,623
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	359	359	△359	—
計	11,478,494	4,989,488	16,467,983	△359	16,467,623
セグメント利益又は損失(△)	1,278,542	△106,235	1,172,307	△536,650	635,657

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△359千円は、セグメント間取引消去であります。
 - (2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△536,650千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「鋼製物置」セグメント及び「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては「鋼製物置」セグメント5,841千円及び「オフィス家具」セグメント26,651千円であります。